

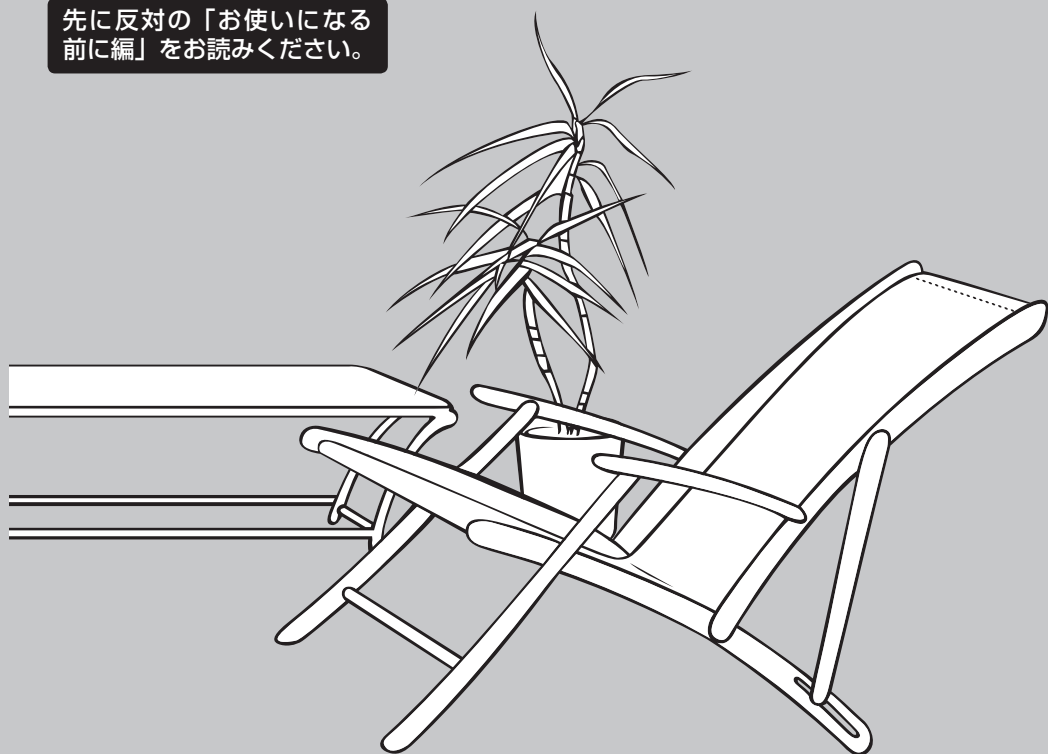
KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

UD-A55 RD-UDA55

取扱説明書(操作編)

先に反対の「お使いになる
前に編」をお読みください。



●メモ리카ードスロット搭載

パソコンを使用しなくても、簡単操作でメモ리카ードへ録音できます。大容量のメモ리카ードを用意すれば、たくさんのCDなどをどんどん録音でき、お部屋もすっきり。入れ替える必要もないので手間なく音楽を楽しめます。

●ケンウッド製 デジタルオーディオプレーヤーと連動

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤーを接続[※]すれば本機のリモコンで操作が思いのままに行えます。デジタルオーディオプレーヤーの曲をより良い音で楽しめるほか、簡単操作で録音も可能。家でも外出先でも楽しみ方が広がります。

圧縮された音楽も高音質に再生する

●SUPREME機能

MP3やWMAの圧縮によって失われた高音域を推測、補間することで限りなく原音に近いリアルなサウンドを甦らせる、ケンウッド独自の技術です。圧縮された音楽もワンランク上の音質で。

●7バンドイコライザー搭載

本格的な7バンドイコライザーで、重低音域から超高音域までの音質を調整できます。ジャンルやお好みに合わせて調整した設定は3種類まで登録できます。

その他の便利な機能

- ワンタッチエディット録音
- おやすみタイマー
- タイマー録音、再生

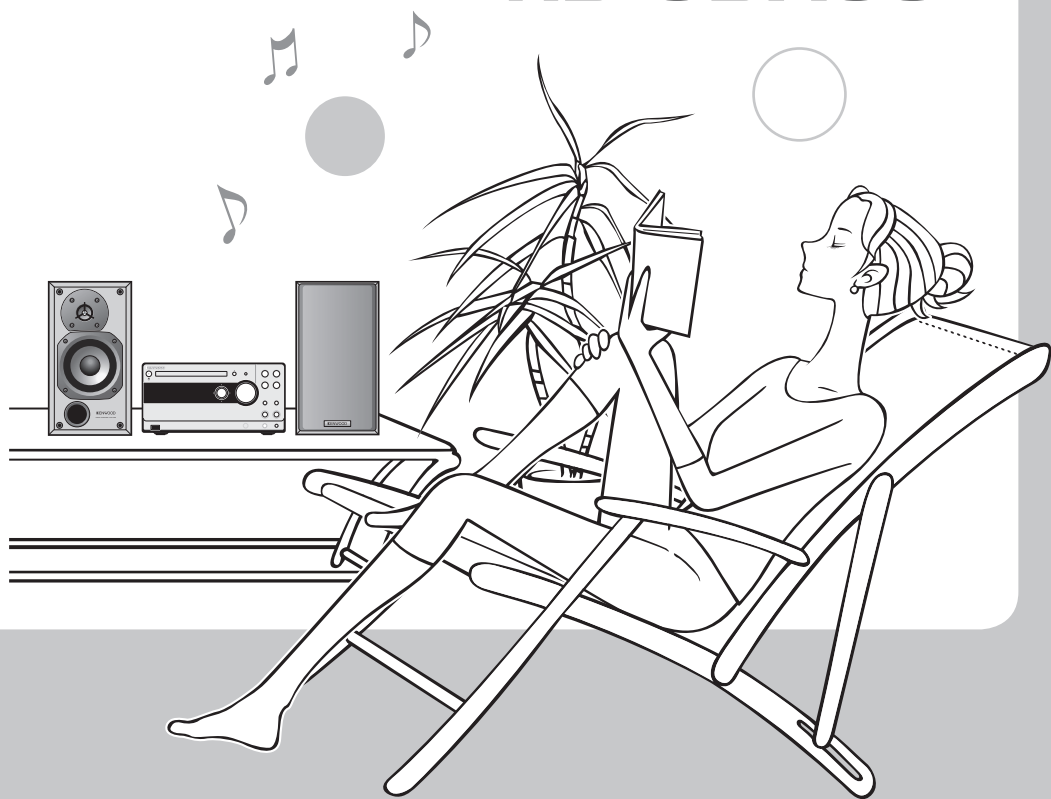
※D-AUDIO IN端子への接続には専用ケーブル PNC-150が必要です。

パソコンいらずで簡単、快適！

すぐに始まる、楽しみ方広がる

コンパクトハイファイ
コンポーネントシステム

UD-A55
RD-UDA55



こんなことができます

もくじ (操作編)

USBオーディオプレーヤー
を使って



メモ리카ードで



聞く

| | |
|-------------------------|----|
| 本機/リモコンで操作が可能 | |
| 曲を聞く…………… | 6 |
| 繰り返し聞く (リピート再生)…………… | 13 |
| お好みの音質で聞く…………… | 18 |

| | |
|------------------------------|----|
| 録り貯めた曲を楽しむ | |
| 曲を聞く…………… | 7 |
| 繰り返し聞く (リピート再生)…………… | 13 |
| イントロで曲を探す (イントロスキャン)…………… | 16 |
| お好みの音質で聞く…………… | 18 |

録音する

| | |
|---|----|
| 録音も簡単操作でOK | |
| CDの曲を録音する (全曲、1曲、好きな曲) … | 26 |
| メモ리카ードから USBオーディオプレーヤーへ 転送する…………… | 30 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| どんどん録り貯めて楽しめる | |
| CDの曲を録音する (全曲、1曲、好きな曲) … | 28 |
| ケンウッド製デジタルオーディオ プレーヤーの曲を録音する … | 32 |
| ラジオ (FMまたはAM) を録音する … | 34 |
| 外部入力 (AUX) から録音する … | 34 |

編集する

| | |
|---------------|----|
| 編集も思いのまま | |
| 曲を消す…………… | 36 |
| 文字入力のしかた…………… | 38 |
| 名前の変更…………… | 40 |

| | |
|---------------|----|
| 簡単編集機能 | |
| 曲を消す…………… | 36 |
| 文字入力のしかた…………… | 38 |
| 名前の変更…………… | 40 |

もっと使いこなす

| | |
|--|----|
| タイマーを使う…………… | 42 |
| おやすみタイマーを設定する …… | 47 |
| TOOLからワンタッチ エディット録音する…………… | 48 |
| 外部機器の入力レベルを調整する …… | 50 |
| USBオーディオプレーヤーまたは メモ리카ード内のフォルダ数、 曲ファイル数を確認する …… | 51 |
| リフレッシュ機能で フォルダを整理する …… | 52 |
| 曲をもっと録り貯めるには …… | 53 |
| ディスプレイ表示切り換え …… | 54 |

録音設定をする

| | |
|------------------------------|----|
| 録音モードを設定する…………… | 56 |
| 録音スピードを設定する…………… | 57 |
| 録音入力を設定する…………… | 57 |
| 録音レベルを調整する…………… | 58 |
| トラックマークの 付け方を設定する…………… | 59 |
| トラックマークの間隔を 設定する…………… | 60 |
| 録音時に曲名などを コピーするか設定する…………… | 61 |

先に反対の「お使いになる前に編」をお読みください。

困ったときは

| | |
|---------------|----|
| メッセージ表示一覧 | 70 |
| マイコンをリセットするには | 71 |
| 故障かな?と思ったら | 72 |
| 用語集 | 75 |

CDで



いつものCDも聞き方を変えて

| | |
|----------------------------|----|
| 曲を聞く | 8 |
| 順不同に聞く (ランダム再生) | 12 |
| 繰り返し聞く (リピート再生) | 13 |
| 好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム再生) | 14 |
| お好みの音質で聞く | 18 |

ラジオで、外部入力で

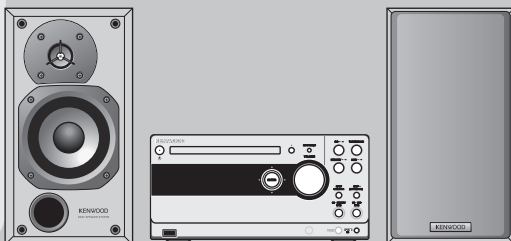
| | |
|-----------------------------------|----|
| 外部機器の曲を聞く (AUX接続) | 9 |
| ケンウッド製 デジタルオーディオ プレーヤーの曲を聞く | 11 |
| お好みの音質で聞く | 18 |
| ラジオを聞く | 20 |
| 放送局を記憶させる | 22 |

音質の 設定を する

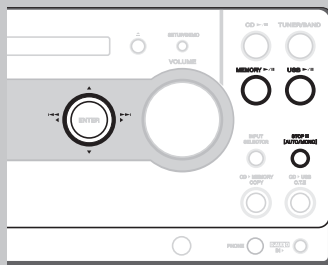
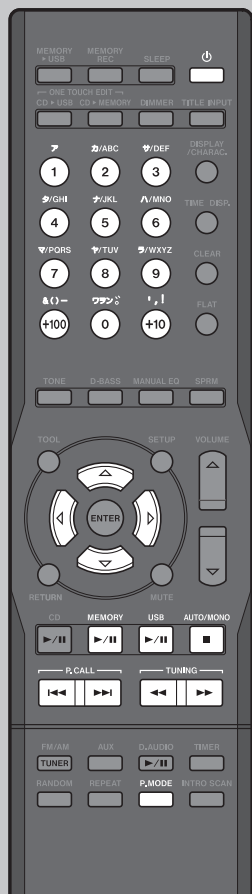
| | |
|-------------------|----|
| 低音を強調する | 62 |
| 低音と高音を調整する | 63 |
| お好みの音質を登録する | 64 |
| より原音に近い音で楽しむ | 65 |
| スピーカーの左右バランスを変更する | 65 |

本機の 設定を する

| | |
|--------------------------|----|
| ディスプレイの明るさを調整する | 66 |
| メモ리카ード内のすべての データを消去する | 67 |
| オートパワーセーブ機能を設定する | 68 |
| 時計を合わせる | 69 |



曲を聞く



USBオーディオプレーヤーの曲を聞く



1 再生する



※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「*」と表示されます。



※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

■ 曲を選ぶ場合は



フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。



■ 再生モードを選ぶ場合は



押すごとに切り換わります。



点灯
フォルダ再生モード
(選択したフォルダ内の曲
ファイルを再生します)

消灯
全曲再生モード
(USBオーディオプレー
ヤー内の全曲ファイルを
再生します)

■ 停止するには



AUTO/MONO



USB



MEMORY



もう一度押すと再開します。



STOP [AUTO/MONO]



USB



MEMORY



もう一度押すと再開します。

メモ리카ードの曲を聞く

1 再生する



※曲ファイルのファイル名が表示されます。カナ、英数字にのみ対応しています。それ以外の文字は「*」と表示されます。



※再生できるデータ形式については、「お使いになる前に編」21ページ参照。

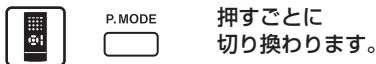
■ 曲を選ぶ場合は



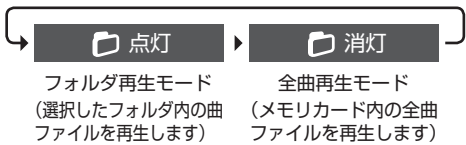
フォルダまたは曲ファイルを選ぶ。

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■ 再生モードを選ぶ場合は



押すごとに切り換わります。



USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ードに曲ファイルが入っている場合は、USB (▶/II) または MEMORY (▶/II) を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

再生中に他の音源に切り換えた場合は、再度MEMORY (▶/II) またはUSB (▶/II) を押すと切り換える前に再生していた所から再生を再開します。

■ 曲を飛ばすには

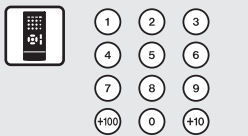


■ 早送り/早戻しするには



再生中に押し続けます。

■ 好きな曲から聞くには (リモコンのみ)



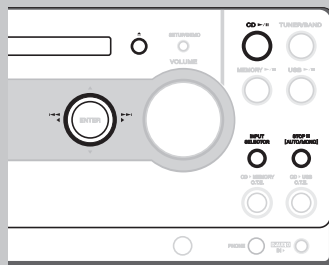
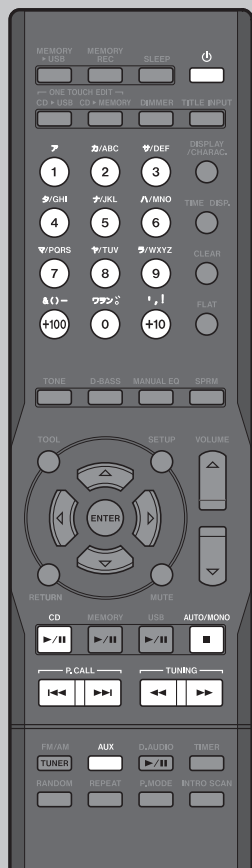
F023なら (+10) × 2回、 (3)

F102なら (+100)、 (2)



再生中に倒し続けます。

曲を聞く 外部機器の曲を聞く (AUX接続)



CDの曲を聞く



1 CDを入れる

- ① トレイを開きます。
- ② CDを入れます。
- ③ トレイを閉じます。
※CDを入れると が点灯します。

2 再生する

- ※CD-TEXT対応のディスクの場合、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。タイトルが長い場合はスクロール表示されます。英数字にのみ対応しています。それ以外の文字はスペースになります。

※再生できるディスクについては「お使いになる前に編」22ページ参照。



あらかじめディスクが入っている場合は、CD を押すだけで本機の電源がONになり、再生が始まります。

CDその他の操作方法

※外部機器の曲を聞く (AUX接続) の場合は行えません。

- 停止するには

AUTO/MONO
- 一時停止するには

CD もう一度押すと再開します。
- STOP [AUTO/MONO]
- CD もう一度押すと再開します。

外部機器の曲を聞く (AUX接続)



1 接続する

- ※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。(「お使いになる前に編」14ページ参照)
- ※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

2 AUX (外部入力) に切り換える



押すごとに切り換わります。



3 再生する

- 接続した外部機器を再生します。
- ※同じボリュームでも外部機器の音が、その他の音源より大きく、または小さく感じた場合は入力レベルを調整してください。(50ページ参照)

Hint リモコンのAUXキーを押すだけで本機の電源がONになります。

■ 曲を飛ばすには

■ 早送り/早戻しするには

再生中に押し続けます。

■ 好きな曲から聞くには (リモコンのみ)

12曲目なら +10、2

23曲目なら +10 × 2回、3

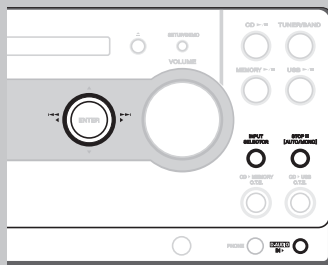
■ 再生中に倒し続けます。

■ 再生中に押し続けます。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く



ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー



1 D.AUDIO IN端子に接続する

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※接続するときは、本機の電源は必ずOFFにして接続してください。(「お使いになる前に編」14ページ参照)

※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

再生可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー

| HDDオーディオプレーヤー | メモリアーディオプレーヤー |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| HD20GA7 HD30GA9 HD30GB9 | M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7 M512C5 |

2006年9月現在

2 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

※専用ケーブル PNC-150 で接続している場合のみ行えます。

■ 停止するには



AUTO/MONO



STOP

[AUTO/MONO]



3 再生する



D.AUDIO



音源が切り換わり再生が始まります。



INPUT SELECTOR



押すごとに切り換わります。



※専用ケーブル PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。



リモコンのD.AUDIO (▶/||) キーを押すだけで本機の電源がONになります。

本機へ接続している間はケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。

■ 一時停止するには

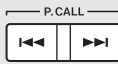


D.AUDIO

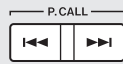


もう一度押すと再開します。

■ 曲を飛ばすには



■ 早送り/早戻しするには

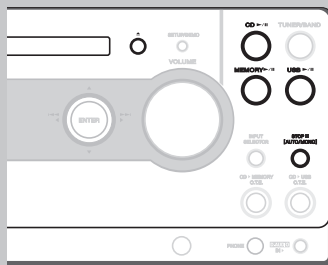
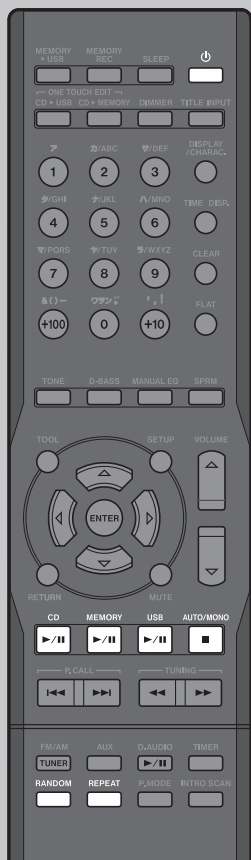


再生中に押し続けます。



再生中に倒し続けます。

順不同に聞く (ランダム再生) 繰り返し聞く (リピート再生)



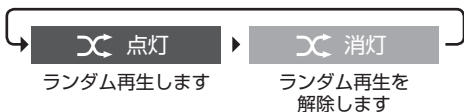
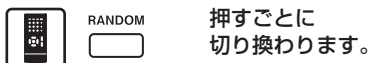
ランダム再生



1 音源をCDに切り換える



2 ランダム再生する



■ ランダム再生モードを解除するには



※STOPキーを押しても、ランダム再生モードを解除できません。STOPキーで解除した場合は再生も停止します。

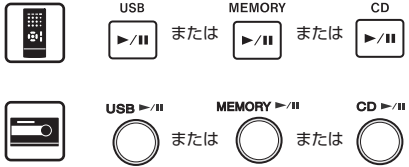


ランダム再生中にREPEATキーを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

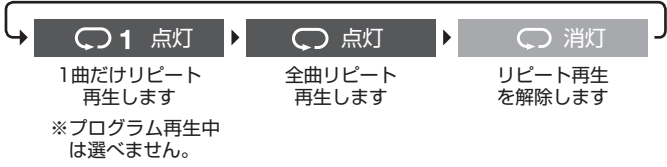
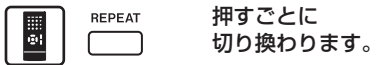
ランダム再生中は、再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

リピート再生   

1 音源を切り換える



2 リピート再生する



■ リピート再生モードを解除するには

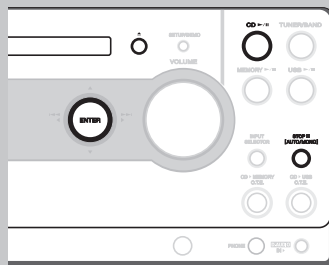
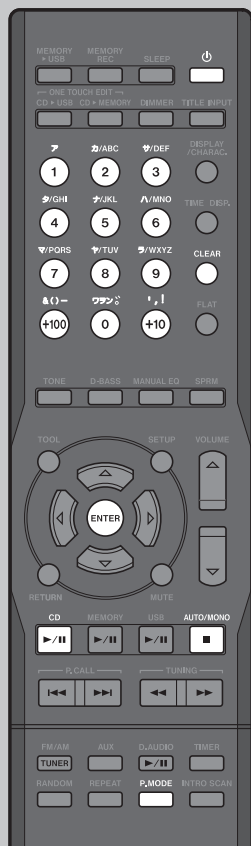


Hint プログラム再生中にREPEATキーを押すと選んだ曲を繰り返し再生します。フォルダ再生モード中にREPEATキーを押すと選んでいるフォルダの曲ファイルを繰り返し再生します。(6ページ参照)

好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム再生)



CDのみ



1 音源をCDに切り換える



2 再生を停止する



3 プログラムモードを選ぶ



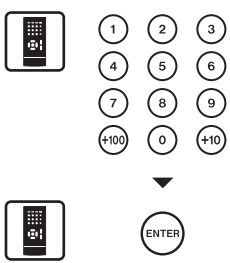
押すごとに
切り換わります。




■ 曲を後から追加するには

再生している場合は停止してから
手順4の操作を行います。

4 聞きたい曲を選ぶ



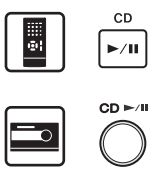
曲を選ぶ。
 ※ 曲を選んでから20秒以内にENTERキーを押してください。
 ※ 入力を間違えた場合は、CLEARキーを押してからもう一度入力してください。

確定する。

 例) CDの4曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合。

5 2曲以上選ぶときは手順4を繰り返す

※32曲まで曲を選ぶことができます。さらに曲を選ぶとすると [PGM FULL] が表示されます。

6 再生する



Hint 電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したディスクを取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

■ プログラムした曲を取り消すには



再生を停止し、その後CLEARキーを押します。
 ※ 押すごとに、プログラムした最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

■ プログラムモードを解除するには



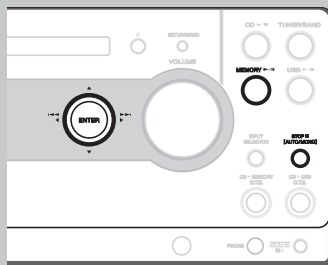
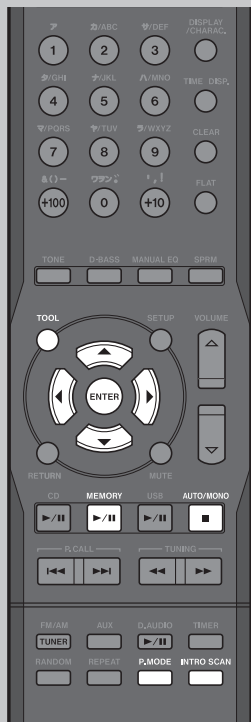
再生を停止し、その後P.MODEキーを押してPGMを消灯させます。

イントロで曲を探す(イントロスキャン)



メモ리카ードのみ

曲ファイルを頭から10秒間次々に再生します。メモ리카ードの中から探したい曲ファイルを見つけるのに便利な機能です。



1 音源をメモ리카ードに切り換える



MEMORY



MEMORY ▶/||



2 再生モードを選ぶ



P. MODE



押すごとに切り換わります。



フォルダ再生モード
(選択したフォルダ内の曲ファイルをイントロスキャンします)

全曲再生モード
(メモ리카ード内の全曲ファイルをイントロスキャンします)

※全曲再生モードの場合は手順4へ。

3 フォルダを選ぶ



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

■途中でやめるには



AUTO/MONO



※再生も停止します。

※すべての曲ファイルのイントロスキャンが終了した場合も自動で停止します。



STOP ■
[AUTO/MONO]



4 イントロスキャンを始める



INTRO SCAN



選択したフォルダの最初の
曲ファイルからそれぞれ
10秒ずつ再生されます。

5 探していた曲が見つかったら



通常再生に切り
換わります。



探していた曲ファイルの編集や転送はイントロスキャン中でも可能です。編集したい場合はTOOLキーを、転送したい場合はMEMORY▶USBキーをそれぞれイントロスキャン中に押してください。編集、転送中はイントロスキャンが一時停止しますが、編集、転送後は次の曲からイントロスキャンが再開します。

■ TOOLからイントロスキャンをするには



TOOL

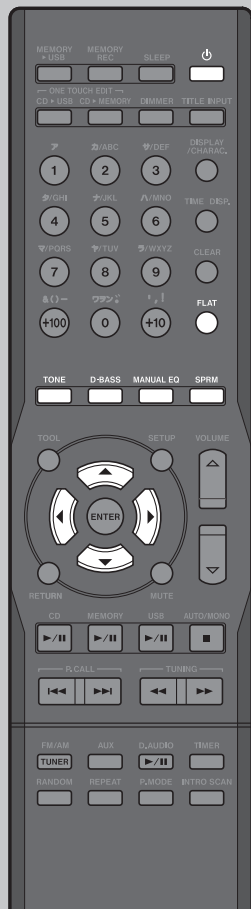
TITLE INPUT
◦INTRO SCANINTRO SCAN
SCAN START

お好みの音質で聞く



音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

SOUND SETUPで調整した音質のON/OFFを切り換えます。
(62～65ページ参照)



低音を強調する (D-BASS)



D-BASS



押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**D-BASS**が点灯します。

■ レベルを調整するには



1～10の範囲で1ずつ調整できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。(62ページ参照)

より原音に近い音で楽しむ (SUPREME)

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードのみ。



SPRM



押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると**SPRM**が点灯します。

※SOUND SETUPからも調整できます。(65ページ参照)

■ SUPREME (サブリーム) とは

オーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し、補間することで、リアルなサウンドを甦らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

低音と高音を強調する (TONE)



TONE



押すごとにON/OFFが切り換わります。

※ONにすると **TONE** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。

■ レベルを調整するには



高音または低音
を選んで



TONE ON
BASS +4

TONE ON
TREBLE +4

調整する



+8 ~ -8の範囲
で2ずつ調整
できます。

+8 ~ -8の範囲
で2ずつ調整
できます。

※SOUND SETUPからも調整できます。(63ページ参照)

お好みの音質に切り換える (MANUAL EQ)

本機搭載の本格的なフバンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、お好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類 (USER 1 ~ 3) まで登録できます。



MANUAL EQ



押すごとに切り換わります。

※ONにすると **EQ** が点灯します。
レベルが0の場合は点灯しません。



※あらかじめUSER1 ~ 3の設定を登録しておく必要があります。(64ページ参照)

D-BASS、TONE、MANUAL EQの設定を一時的に無効にする (FLAT)



FLAT



押すごとにFLATと設定済みのもとの音質に切り換わります。

※ONにすると **D-BASS、TONE、EQ** が点灯していれば消灯します。



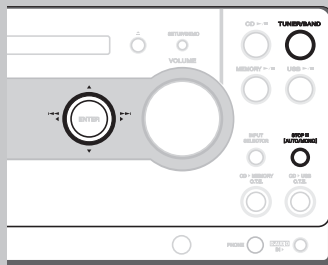
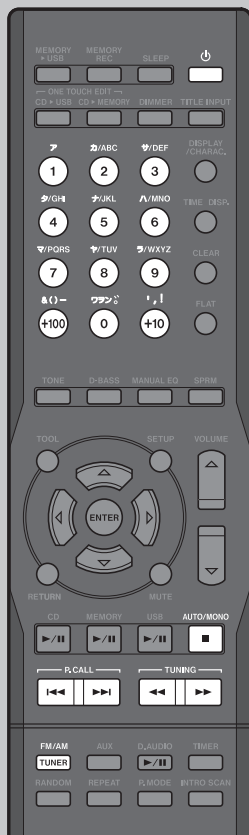
ディスプレイは各音質のON/OFFを切り換えた5秒後、レベル調整を行った20秒後にもとの表示に戻ります。

選択などの操作は本体でも行うことができます。

ラジオを聞く



ラジオのみ



1 FMまたはAMに切り換える



FM/AM
TUNER

押すごとに
切り換わります。



TUNER/BAND



押すごとに
切り換わります。



2 放送局を選ぶ

記憶させてある放送局から選ぶ場合（プリセットコール）



TUNER P03



例) プリセット番号P03を
選択している場合。

記憶させてある放送局を、
プリセット番号 (P01 ~
P40) から選びます。

※放送局を記憶させる場合(オー
トプリセット/マニュアルプリ
セット)は22、24ページ参照。

※押したままにすると、放送局を
早く切り換えることができます。

■ 数字キーで放送局(プリセット番号)を選ぶには



1 2 3 P13なら +10、3

4 5 6 P32なら +10 × 3回、2

7 8 9

+10 0 +10

記憶させていない放送局を選ぶ場合（オート選局またはマニュアル選局）

①



AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



オート選局するか、マニュアル選局するかを選びます。
※押すごとに切り換わります。

AUTO点灯

オート選局
(電波状況の良い
ときに選びます)

AUTO消灯

マニュアル選局
(電波状況の悪い
ときに選びます)

②



放送局を選びます。

■ オート選局の場合は

押すごとに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■ マニュアル選局の場合は

受信するまで、または受信したい周波数になるまで押してください。
押し続けると周波数が早送りになります。



リモコンのFM/AM/ [TUNER] キーを押すだけで本機の電源がONになります。

オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。

オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。

受信すると **TUNED** が点灯します。ステレオ受信の場合は **STEREO** が点灯します。

聞く

ラジオを聞く

放送局を記憶させる



ラジオのみ

準備

FMまたはAMに切り換えてください。

※他の音源が選ばれていると、放送局を記憶させることができません。

※放送局はFM、AM合わせて最大40局まで記憶させることができます。

※放送局名は「放送局名自動表示リスト」に載っている放送局のみに対応しています。

※ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。



放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

1 TOOLキーを押し [AUTO PRESET] を選び決定する



2 お住まいの都道府県名を選ぶ



テン/イセ/ッ/テイ
トウキョウ

※都道府県名はアイウエオ順に並んでいます。

※お住まいの都道府県が変わった場合はもう一度記憶させてください。

3 放送局を記憶させる



※ディスプレイに [AUTO PRESET] が点滅して放送局が記憶されます。記憶後はプリセット番号P01を受信した状態になります。

※すでに記憶されている周波数も書き換えることができます。

■ 希望の放送局名が表示されない場合は



地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されない場合は、リモコンのP.MODEキーを押すことにより別の放送局名に切り換えることができます。

放送局名自動表示リスト

※放送局名は変更されることがあります。

| 都道府県名 | 放送局 | 表示名 | 都道府県名 | 放送局 | 表示名 |
|-------|---------------|-------------|-------|-----------------|-------------|
| | NHK-FM | NHK-FM | 島根県 | (株)エフエム山陰 | fm-sanin |
| 愛知県 | (株)エフエム愛知 | FM AICHI | 千葉県 | (株)ベイエフエム | bayfm |
| 愛知県 | (株)ZIP-FM | ZIP-FM | 東京都 | (株)J-WAVE | J-WAVE |
| 愛知県 | 愛知国際放送(株) | RADIO-i | 東京都 | (株)エフエム東京 | TOKYO FM |
| 青森県 | (株)エフエム青森 | FMアオイ | 徳島県 | (株)エフエム徳島 | FMトクマ |
| 秋田県 | (株)エフエム秋田 | FMアキタ | 栃木県 | (株)エフエム栃木 | RADIO BERRY |
| 石川県 | (株)エフエム石川 | FM ISHIKAWA | 富山県 | 富山エフエム放送(株) | FMトヤマ |
| 岩手県 | (株)エフエム岩手 | FM IWATE | 富山県 | 北日本放送(株) | KNBラジオ |
| 愛媛県 | (株)エフエム愛媛 | FMエヒメ | 長崎県 | (株)エフエム長崎 | Smile-FM |
| 大分県 | (株)エフエム大分 | FM OITA | 長野県 | 長野エフエム放送(株) | FM NAGANO |
| 大阪府 | (株)FM802 | FM802 | 新潟県 | (株)エフエムラジオ新潟 | FM-NIIGATA |
| 大阪府 | (株)エフエム大阪 | fm osaka | 新潟県 | 新潟県民エフエム放送(株) | FM PORT |
| 大阪府 | 関西インターメディア(株) | FM CO・CO・LO | 兵庫県 | (株)Kiss-FM KOBE | Kiss-FM |
| 岡山県 | 岡山エフエム放送(株) | FMオカヤマ | 広島県 | 広島エフエム放送(株) | ヒロシマFM |
| 沖縄県 | AFN沖縄 | AFNオキナワ | 福井県 | 福井エフエム放送(株) | FMFUKUI |
| 沖縄県 | (株)エフエム沖縄 | FM Okinawa | 福岡県 | (株)エフエム九州 | CROSS FM |
| | NHK第一 | NHKラジオ1 | 福岡県 | (株)エフエム福岡 | fm fukuoka |
| 香川県 | (株)エフエム香川 | Fm FMカカワ | 福岡県 | (株)九州国際エフエム | Love FM |
| 鹿児島県 | (株)エフエム鹿児島 | ミュ-FM | 福島県 | (株)エフエム福島 | フクシマFM |
| 東京都 | FMインタラクティブ(株) | InterFM | 北海道 | (株)エフエム・ノースウェーブ | NORTH WAVE |
| 神奈川県 | 横浜エフエム放送(株) | Fm Yokohama | 北海道 | (株)エフエム北海道 | AIR-G' |
| 岐阜県 | 岐阜エフエム(株) | Radio 80 | 三重県 | 三重エフエム放送(株) | Radio3 FMミ |
| 京都府 | (株)エフエム京都 | FMキョウト | 宮城県 | (株)エフエム仙台 | Date fm |
| 熊本県 | (株)エフエム熊本 | FMK | 宮崎県 | (株)エフエム宮崎 | JOY FM |
| 群馬県 | (株)エフエム群馬 | FM GUNMA | 山形県 | (株)エフエム山形 | BOY FM |
| | 放送大学 | ホソウタダイガク | 山口県 | (株)エフエム山口 | FMヤマぐち |
| 高知県 | (株)エフエム高知 | FM KOCHI | 山梨県 | (株)エフエム富士 | FM-FUJI |
| 埼玉県 | (株)FM NACK5 | NACK5 | | | |
| 佐賀県 | (株)エフエム佐賀 | FMサガ | | | |
| 滋賀県 | (株)エフエム滋賀 | e-radio | | | |
| 静岡県 | 静岡エフエム放送(株) | K-MIX | | | |



オートプリセットで記憶させることができる放送局は、手順2で設定したお住まいの都道府県と隣接する都道府県の放送局のみです。それ以外の放送局はマニュアルプリセット(24ページ参照)で記憶させてください。

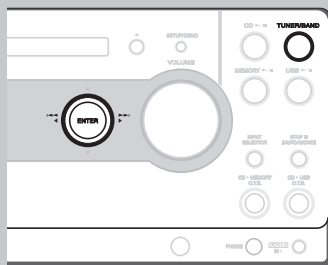
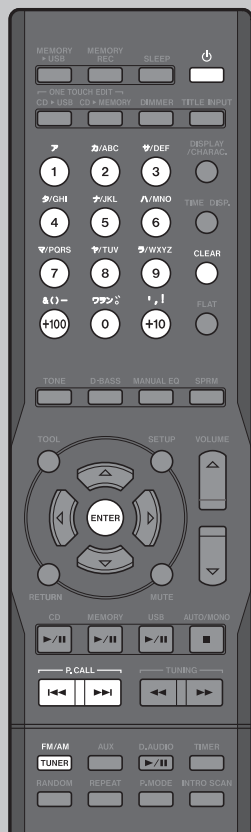
放送局名自動表示リスト以外の放送局はマニュアルプリセット(24ページ参照)で記憶させてください。

電波状況が悪く **TUNED** が点灯していない場合は、放送局名は表示されません。

放送局を記憶させる (つづき)



ラジオのみ

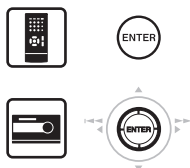


放送局を手動で記憶させる (マニュアルプリセット)

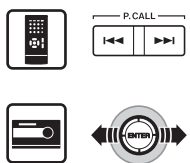
1 記憶させたい放送局を選ぶ

※オート選局またはマニュアル選局で放送局を選びます。(21ページ参照)

2 選んだらENTERキーを押す

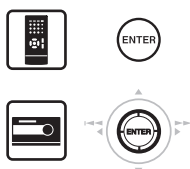


3 記憶させたいプリセット番号 (P01 ~ P40) を選ぶ



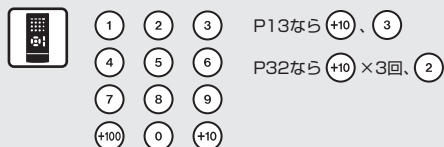
※すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

4 放送局を記憶させる



※続けて記憶させたい場合は、手順1 ~ 4を繰り返してください。

■ 数字キーで放送局 (プリセット番号) を選ぶには



記憶させた放送局を消す

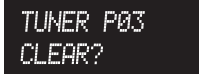
1 消したい放送局をプリセット番号から選ぶ



※プリセット番号P40は消せません。



2 選んだらCLEARキーを押す



ディスプレイに[CLEAR?]と20秒間表示されます。

3 放送局を消す



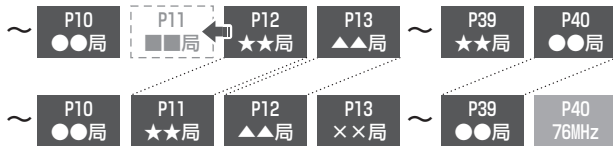
ディスプレイに[CLEAR?]と表示されている間にENTERキーを押してください。



※20秒間操作されなかった場合はもとの表示に戻ります。

■ 放送局を消すと

例) P11の■■局を消す



後々のプリセット番号が前に詰まる。

空いてしまうプリセット番号には自動的に76MHzが記憶されます。

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)



USBオーディオ
プレーヤーの場合

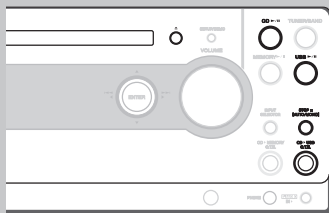
準備

USBオーディオプレーヤー、CDの再生が停止しているか確認してください。

ⓧ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、メモリアードを挿入しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。



全曲録音する

1 録音する



CD ▶ USB



CD ▶ USB
O.T.E.



■途中でやめるには



AUTO/MONO



※一時停止はできません。



STOP ■
[AUTO/MONO]



※一時停止はできません。



Hint

USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番号があると[Riフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■録音が終了すると

CD T01
DATA WRITING

USBオーディオプレーヤーが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中USBオーディオプレーヤーがいったいになると

ロクオン ティシ
ヨリヨウガアリマセン

[ロクオン ティシ ヨリヨウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

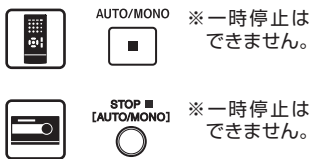
1 曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する



■途中でやめるには

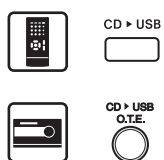


好きな曲を好きな順番で録音する

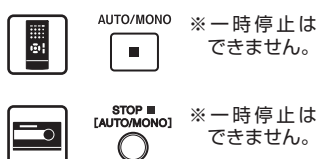
1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。(14ページ参照)

2 録音する



■途中でやめるには



Hint CDからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。(49ページ参照)
CD-TEXTに対応したCDでは、録音するとき曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。(61ページ参照)

■こんなときは

- 短時間で録音したい 57ページ参照 (録音スピードを設定する)
- USBオーディオプレーヤー内の
情報を見たい 51ページ参照
- フォルダ、曲ファイルを消去したい 36ページ参照
- フォルダを整理したい 52ページ参照
- フォルダ、曲ファイルの
名前を変更したい 40ページ参照

CDの曲を録音する (ワンタッチエディット録音)



メモ리카ードの場合

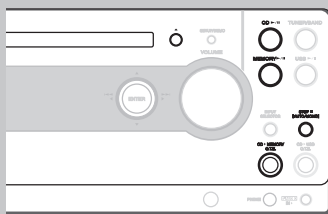
準備

メモ리카ード、CDの再生が停止しているか確認してください。

ⓧ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。



全曲録音する

1 録音する



CD ▶ MEMORY



CD ▶ MEMORY Q.T.E.

■途中でやめるには



AUTO/MONO

※一時停止はできません。



STOP [AUTO/MONO]

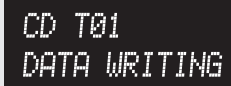
※一時停止はできません。



Hint

メモ리카ード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュテクダサイ]が表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■録音が終了すると



メモ리카ードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

※[DATA WRITING]表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※[DATA WRITING]が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■録音中メモ리카ードがいっぱいになると

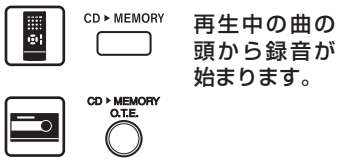


[ロックオン テイシ ヨリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

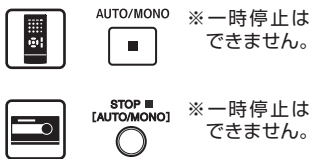
1 曲録音する

1 録音したい曲を再生する

2 録音する



■途中でやめるには

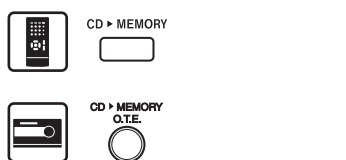


好きな曲を好きな順番で録音する

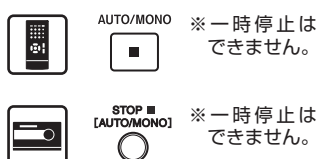
1 録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。(14ページ参照)

2 録音する



■途中でやめるには



Hint CDからメモ리카ードへのワンタッチエディット録音は、TOOLからも行えます。(49ページ参照)
CD-TEXTに対応したCDでは、録音するとき曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーすることができます。(61ページ参照)

■こんなときは

- 短時間で録音したい 57ページ参照 (録音スピードを設定する)
- メモ리카ード内の情報を見たい 51ページ参照
- フォルダ、曲ファイルを消去したい 36ページ参照
- フォルダを整理したい 52ページ参照
- フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい 40ページ参照

メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する (ワンタッチエディット転送)

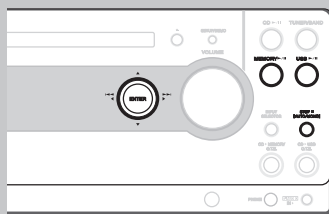
メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモ리카ード内からは曲ファイルがなくなります。

※USBオーディオプレーヤーへ転送した曲ファイルはメモ리카ードへ戻すことはできません。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードの再生が停止しているか確認してください。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。

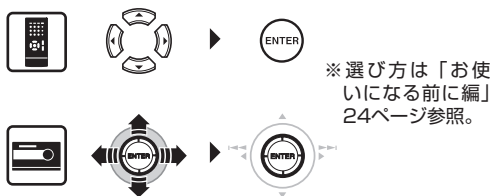


1 曲転送する

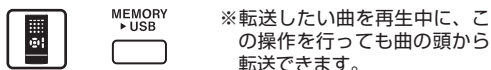
1 音源をメモ리카ードに切り換える



2 転送したい曲ファイルを選び再生する



3 転送する



メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへのワンタッチエディット転送は、TOOLからも行えます。(48ページ参照)

■ 転送中USBオーディオプレーヤーが真っ暗になると

テンソウ エラー
USB ヲカクニン

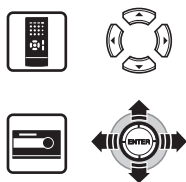
[テンソウ エラー USB ヲカクニン]と表示されます。転送し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

フォルダ内すべての曲を転送する

1 音源をメモリカードに切り換える



2 転送したいフォルダを選択する



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 転送する



※転送中に何らかのキーを押すと[テンソウ チュウデス KEYLOCKサレテイマス]と表示されます。転送が終わるまで他の操作はできません。



USBオーディオプレーヤー内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、転送することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

■ こんなときは

- USBオーディオプレーヤー、メモリカード内の情報を見たい …… 51ページ参照
- フォルダ、曲ファイルを消去したい …… 36ページ参照
- フォルダを整理したい …… 52ページ参照
- フォルダ、曲ファイルの名前を変更したい …… 40ページ参照

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を録音する



メモ리카ードのみ

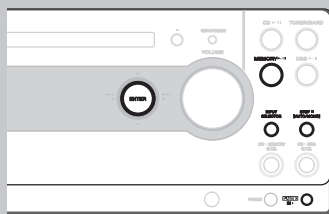
準備

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをD.AUDIO IN端子に接続してください。(「お使いになる前に編」14ページ参照)
メモ리카ードの再生が停止しているか確認してください。

⏏ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。



1 音源をD.AUDIOに切り換える



D.AUDIO



2 録音の準備をする

①



D.AUDIO



再生を一時停止します。

②

録音したい曲を選びます。

※録音したい曲を頭出しした状態になります。

※別売の専用ケーブル PNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作が行えます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

3 録音待機する



MEMORY REC



録音一時停止(待機)状態になります。

MEMORY (REC)
MEMORY CARD ㊦

※[MEMORY CARD ㊦ヌカナイデクダサイ]とスクロール表示されます。

■ 停止するには



AUTO/MONO



■ 一時停止するには



MEMORY REC



または

MEMORY



STOP ㊦
[AUTO/MONO]



MEMORY ㊦/II



※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

関連機能

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの曲を聞く

P10

曲を消す

P36

4 録音を始める



再度MEMORY REC キーを押し、録音を開始します。



※[MEMORY CARD] ラ ヌカ ナイテクダサイとスクロール表示されます。

5 ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生する



ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生させます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

■ 録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIOを録音するとき手でトラックマーク(曲を区切るマーク)を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。



区切りたい場所で押します。



※自動でトラックマークを付けたい場合は59ページ参照。

■ 録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は録音レベルを調整してください。(58ページ参照)



メモ리카ード内にフォルダ名AL_Z90番台があると[リフレッシュテクダサイ]と表示され、録音することができません。フォルダの整理が必要です。リフレッシュを行ってください。(52ページ参照)

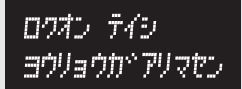
■ 録音が終了すると



メモ리카ードが停止して、[DATA WRITING]と表示されます。

- ※ [DATA WRITING] 表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
- ※ [DATA WRITING] が完了する前に電源が切れると録音した内容が消えます。

■ 録音中メモ리카ードがいっぱいになると



[ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン]と表示されます。録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(36ページ参照)

ラジオ (FMまたはAM) を録音する 外部入力 (AUX) から録音する



メモ리카ードのみ

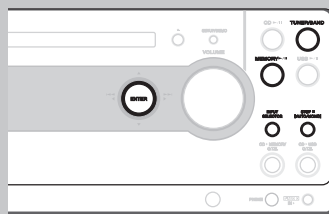
準備

メモ리카ードの再生が停止しているか確認してください。

☞ が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音中、USBオーディオプレーヤーを接続しないでください。録音が停止します。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。



1 録音する音源を選ぶ

ラジオ放送 (FMまたはAM) を録音する場合



FM/AM
TUNER

押すごとに切り換わります。



TUNER/BAND



外部入力機器 (AUX) から録音する場合



AUX



INPUT
SELECTOR

押すごとに切り換わります。



2 録音の準備をする

ラジオ放送 (FMまたはAM) を録音する場合

選局します。(20～21ページ参照)

外部入力機器 (AUX) から録音する場合

受信や再生などの準備をします。(9ページ参照)

■ 停止するには



AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



■ 一時停止するには



MEMORY
REC



MEMORY



MEMORY ▶/■



※再び録音を始める場合は、もう一度押します。このとき曲ファイル名は1繰り上がります。

3 録音待機する



MEMORY
REC

録音一時停止（待機）
状態になります。

MEMORY (REC)
MEMORY CARD ♪

※[MEMORY CARD]ラ
カナイデクダサイ]とスク
ロール表示されます。

4 録音を始める



MEMORY
REC

再度RECキーを押し、
録音を開始します。

MEMORY Tr001
MEMORY CARD ♪

※[MEMORY CARD]ラ
カナイデクダサイ]とスク
ロール表示されます。

5 外部入力の再生を始める

※ラジオの場合、この手順は不要です。



Hint

メモ리카ード内にフォルダ名AL_Z90番台がある
と[リフレッシュシテクダサイ]と表示され、録音
することができません。フォルダの整理が必要で
す。リフレッシュを行ってください。(52ページ
参照)

■ 録音が終了すると

TUNER P03
DATA WRITING

メモ리카ードが停止して、
[DATA WRITING]と表示されます。

※ [DATA WRITING]表示中は電源を切っ
たり衝撃や振動を加えないでください。

※ [DATA WRITING]が完了する前に電
源が切れると録音した内容が消えます。

■ 録音時のトラック分割について

ラジオや外部入力、またはD.AUDIO
を録音するとき手でトラックマ
ーク(曲を区切るマーク)を付けるこ
とができ、押すごとに曲ファイルが作
成されます。



区切りたい場所
で押します。



※自動でトラック
マークを付け
たい場合は59
ページ参照。

- 録音した音が歪む、
または小さいと感じた場合は
録音レベルを調整してください。
(58ページ参照)

録音する

ラジオ(FMまたはAM)を録音する
外部入力(AUX)から録音する

■ 録音中メモ리카ードが いっぱいになると

ロクオン テイシ
ヨウリョウガアリマセン

[ロクオン テイシ ヨウリョウガ
アリマセン]と表示されます。録音
し直す場合は、不要な曲を削除し
てください。(36ページ参照)

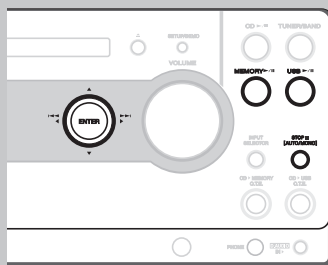
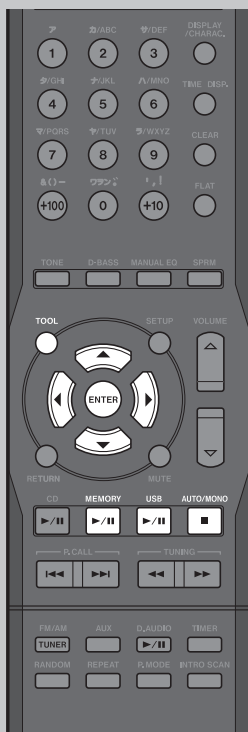
曲を消す



USBオーディオ
プレーヤーまたは
メモ리카ードのみ

消したい曲を再生して、確認しながら消すこともできます。その場合は消したい曲を再生しながら操作してください。

一度消した曲はもとに戻りません。本操作を行うときはご注意ください。



1 音源を切り換える



USB



または

MEMORY



2 消したい曲ファイルまたはフォルダを選ぶ

※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

1曲ずつ消す場合



曲ファイルを選びます。
※再生中はその曲ファイルが選択されます。

フォルダとフォルダ内のすべての曲を消す場合



フォルダを選びます。
※フォルダが消せない場合は曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。(71ページ参照)

■途中でやめるには



AUTO/MONO

または



STOP
[AUTO/MONO]



3 TOOLキーを押し [ERASE] を 選び決定する



4 確認して、実行する



※曲ファイルやフォルダを消した後は、FOO1が表示されます。



メモリーカードの書き込み禁止スイッチがLockになっていると、操作を完了しても [Lock サレテイマス] と表示され、曲ファイルを消すことができません。

フォルダ内に曲ファイル以外のファイルがある場合に、フォルダを選択して消す操作を行うと、フォルダと曲ファイル以外のデータを残して曲ファイルだけ消されます。

本機ではMEMORY FORMATをしないと曲ファイル以外のファイルを消すことはできません。(67ページ参照)

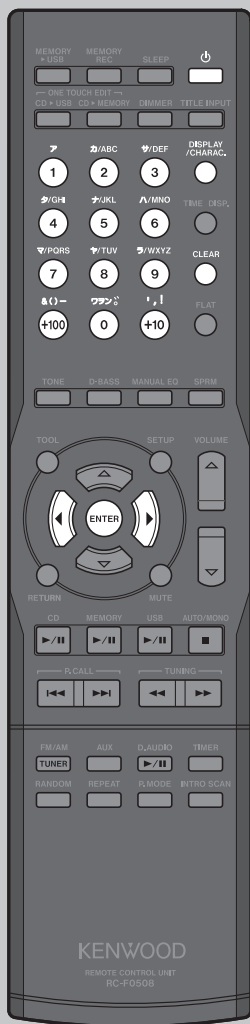
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

文字入力のかた



USBオーディオ
プレーヤーまたは
メモ리카ードのみ

曲名など、文字の入力についての説明です。名前の変更（40ページ）も併せてご覧ください。



1 文字を入力する

- ① DISPLAY/CHARAC. 文字のグループを選びます。押すごとに文字の種類が切り換わります。

※詳しくは右記のタイトル編集文字一覧表をご覧ください。

- ② 文字入力キーを押して、文字を入力します。

例) グループ [Aa] で を押したとき以下のように入り換わります。

→ A ▶ B ▶ C ▶ a ▶ b ▶ c ▶

- ③ ①、②を繰り返して文字を入力していきます。

例) HAPPYと入力する場合の操作は以下のようになります。



| 文字 | キー | 押す回数 |
|---------|----|--------|
| H | 4 | 2回押します |
| A | 2 | 1回押します |
| P | 7 | 1回押します |
| カーソルを移動 | | 1回押します |
| P | 7 | 1回押します |
| Y | 9 | 3回押します |

※カタカナ、数字を入力する場合は DISPLAY/CHARAC.キーで文字のグループを選び同じ要領で入力します。

2 タイトルを確定する



タイトル編集文字一覧表

| 数字キー | グループ | Aa | 12 | アア |
|-------|--------------|---------------------------|----|------------|
| ① | 1 ア | □ (スペース) | 1 | アイウエオアイウエオ |
| ② | 2 カABC | A B C a b c | 2 | カキクケコ |
| ③ | 3 サDEF | D E F d e f | 3 | サシスセソ |
| ④ | 4 タGHI | G H I g h i | 4 | タチツテトツ |
| ⑤ | 5 ナJKL | J K L j k l | 5 | ナニヌネノ |
| ⑥ | 6 ハMNO | M N O m n o | 6 | ハヒフヘホ |
| ⑦ | 7 マPQRS | P Q R S p q r s | 7 | マミムメモ |
| ⑧ | 8 ヤTUV | T U V t u v | 8 | ヤユヨヤユヨ |
| ⑨ | 9 ラWXYZ | W X Y Z w x y z | 9 | ラリルレロ |
| ⑩ | 0 ワラン ` ° | □ (スペース) | 0 | ` ° ワラン |
| ⑩+10 | +10 ' , ! | ' , ! ; ' " \$ % & (スペース) | | |
| ⑩+100 | +100 & () - | & () - + = # % @ | | |


※ ` (濁点) ° (半濁点) はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。

入力できる文字数

メモリカードまたはUSBオーディオプレーヤーのフォルダ、曲ファイルにはそれぞれ最大28文字まで入力できます。

※カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じデータを必要とします。

■ 文字を消すには

- ①   消したい文字にカーソルを移動させます。
- ②   CLEAR
文字を消します。

■ 文字を挿入するには

- 
- 
- 挿入する箇所にカーソルを移動させ、文字を入力します。

■ 管理番号について



※フォルダ名、曲ファイル名のタイトル前にあるアルファベットや番号(管理番号)を変更するとフォルダ、曲ファイルの順序がずれてしまいます。なるべく管理番号の変更はしないでください。



USBオーディオプレーヤーやメモリカードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

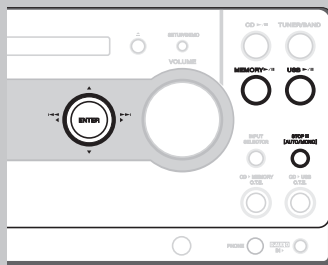
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

名前の変更



USBオーディオ
プレーヤーまたは
メモ리카ードのみ

本機で録音した曲ファイルや作成されたフォルダ（KWDフォルダに入っています）以外のデータの名前を変更しないでください。KWDフォルダについては「お使いになる前に編」24ページ参照。



曲ファイルやフォルダの名前を変更する

1 音源を切り換える



または



または



2 名前を変更したい曲ファイル またはフォルダを選ぶ



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

※再生中の場合は、再生されている曲ファイルの名前を変更します。

3 TITLE INPUTキーを押す



TITLE INPUT



■途中でやめるには



TOOL

または



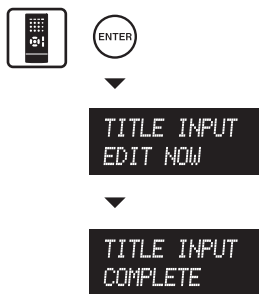
STOP
[AUTO/MONO]



4 文字を入力する

38ページ参照。

5 タイトルを確定する



※他の曲ファイルやフォルダの名前を変更する場合は、続けて手順2～5を繰り返し行ってください。



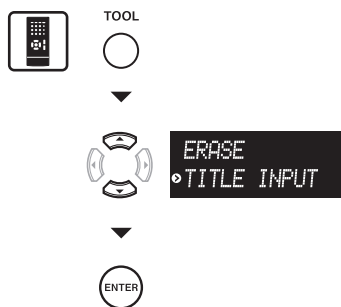
Hint

USBオーディオプレーヤーやメモ리카ードの曲ファイル名を変更する場合は、すでにある曲ファイルやフォルダの名前と同じ名前を付けないでください。

選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

■ TOOLから名前を変更するには

- 1 音源を切り換えます。
- 2 名前を変更したい曲ファイルまたはフォルダを選びます。
- 3 TOOLキーを押し[TITLE INPUT]を選び決定します。



- 4 文字を入力します。
- 5 タイトルを確定します。

タイマーを使う

2種類のタイマー (PROGRAM 1、PROGRAM 2) を同時に設定できます。

PROGRAM 1 と PROGRAM 2 の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。

ラジオ放送をタイマーで録音する場合、録音したい番組の開始時間ぴったりタイマーを設定すると最初の部分が頭切れになります。開始時間より1分程度早く設定してください。

準備

時計を合わせておいてください。
(69ページ参照)

外部機器の音を再生、または録音する場合は、外部機器を接続し外部機器のタイマーも設定しておいてください。(外部機器の取扱説明書をご覧ください)

操作中にRETURNキーを押すと、前の表示に戻ることができます。

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。



SETUP



SYSTEM SETUP
REC SETUP



1 [TIMER SETTING] を選ぶ



TIME ADJUST
TIMER SETTING



2 [PROGRAM 1 SET] または [PROGRAM 2 SET] を選ぶ



PROGRAM 1 SET
PROGRAM 2 SET



3 各項目を選んで設定する

設定できる項目は以下の通りです。
各項目については43～46ページ参照。

各項目の設定に順番はありません。
必要な項目を、お好きな順番で設定できます。



各項目を選んで



決定する



各項目の詳細を
設定する

| | |
|-------------|----------------------------------|
| ON/OFF | タイマーが作動するまたはしないを設定する |
| PLAY/REC | 再生または録音を選ぶ |
| ヨウヒ セツテイ | 曜日を選ぶ |
| ON TIME | 開始時間を設定する |
| OFF TIME | 終了時間を設定する |
| ON VOLUME | 音量を設定する |
| AI PLAY | AI PLAYを設定する (TIMER PLAYのみ有効) |
| PLAY SOURCE | 再生する音源を選ぶ |
| REC MODE | 録音モードを選ぶ (TIMER RECのみ有効) |

※すべての項目を設定しなくてもタイマーの設定は完了できますが、確実に動作させるために各項目をひと通り確認することをお勧めします。

[ON/OFF] タイマーが作動するまたはしないを設定する



ON/OFF
ON



※タイマーを作動させない場合は
[OFF] を選びます。

[PLAY/REC] 再生または録音を選ぶ



PLAY/REC
TIMER REC

録音する
場合



TIMER PLAY

再生する
場合



[ヨウビ セッテイ] 曜日を選ぶ

① 曜日を選びます。



ヨウビ セッテイ
EVERYDAY (毎日)

解除するまで
タイマーが動く



SUNDAY (日曜日)
MONDAY (月曜日)
TUESDAY (火曜日)
WEDNESDAY (水曜日)
THURSDAY (木曜日)
FRIDAY (金曜日)
SATURDAY (土曜日)

タイマーが
1回だけ動くか、
毎週動くか
選べる



手順
②へ

MON - FRI (月~金曜日)
TUE - SAT (火~土曜日)
SAT - SUN (土~日曜日)

解除するまで
タイマーが動く



② 1回だけ動くか、
毎週動くかを選び
ます。



ヨウビ セッテイ
ONETIME

タイマーが
1回だけ動く



EVERY WEEK

タイマーが
毎週動く

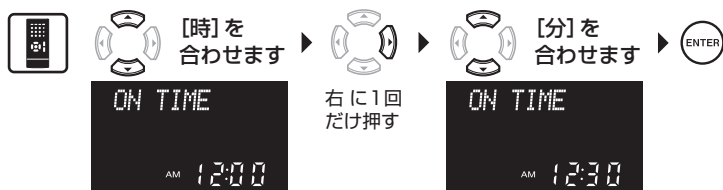


もっと
使いこなす

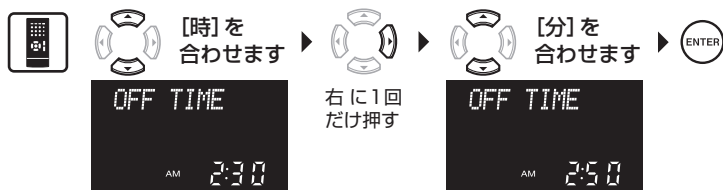
タイマーを使う

タイマーを使う (つづき)

[ON TIME] 開始時間を設定する



[OFF TIME] 終了時間を設定する



[ON VOLUME] 音量を設定する

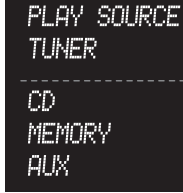


[AI PLAY] AI PLAYを設定する (TIMER PLAYのみ有効)



[PLAY SOURCE] 再生する音源を選ぶ

① 音源を選びます。



放送局（プリセット番号）を選ぶ



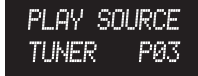
右に1回だけ押す

手順 ②へ



※ [PLAY/REC] (43ページ参照) で [TIMER REC] を選んでいる場合、[MEMORY]、[CD] を選ぶことはできません。

② 放送局（プリセット番号 P01～P40）を選びます。



※ プリセット番号については22～24ページ参照。

[REC MODE] 録音モードを選ぶ (TIMER RECのみ有効)

※録音モードの設定については56～61ページ参照。



もつと
使いこなす

タイマーを使う (つづき)

タイマーを使う（つづき）

4 電源をOFFにする



※タイマーが設定されてスタンバイ状態になると[タイマーセット サレマシタ]と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点灯します。

※電源プラグを差し直したり停電があった場合は、[トケイセッテイ カクニン]と表示され、スタンバイ・タイマーインジケーターが橙色に点滅します。もう一度時計を合わせてください。

■ タイマーを解除（OFF） / 再設定（ON）するには



TIMER



押すごとに切り換わります。

※電源をONにしてから行ってください。



この操作は本体でも行うことができます。

タイマーの内容を確認、変更したい場合や設定を間違えた場合は、設定を初めからやり直してください。

タイマーを設定した後に再生などを楽しんでも、タイマーの設定には影響ありません。

タイマー作動中に、「メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」（30ページ）、「曲を消す」（36ページ）、「メモ리카ード内のすべてのデータを消去する」（67ページ）を行うと終了時間になっても電源がOFFになりません。

おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に電源がOFFになります。



1 SLEEPキーを押し 時間を設定する



SLEEP

押すごとに
切り換わります。

SLEEP
30min.

※押すごとに10分ずつ増えます。
最大で90分まで設定できます。

※ [OFF] を選ぶと解除できます。

※  が点灯します。



■ SYSTEM SETUPから設定するには

- 1 SETUPキーを押し [SYSTEM SETUP] を選び、ENTERキーで決定します。
- 2 [SLEEP] を選び、ENTERキーで決定します。
- 3 MULTI CONTROLキーの上下で時間を設定し、ENTERキーで確定します。



この操作は本体でも行うことができます。

おやすみタイマー設定中に、「メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへ転送する」(30ページ)、「曲を消す」(36ページ)、「メモ리카ード内のすべてのデータを消去する」(67ページ)を行うとおやすみタイマーがOFFになります。

■ おやすみタイマーを解除、 または再設定するには

※電源をOFFにするか、または [OFF] を選びます。

もっと
使いこなす

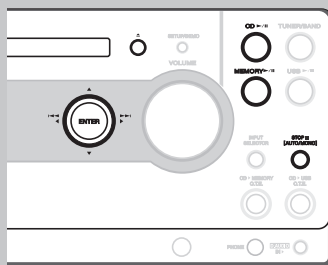
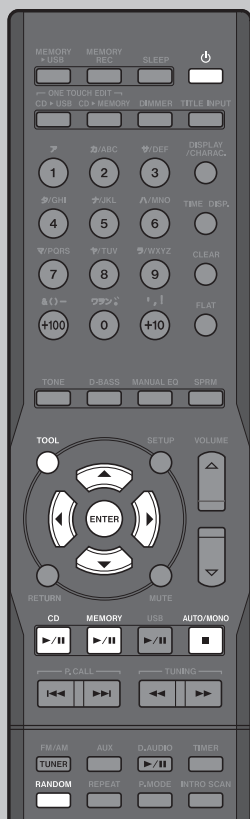
タイマーを使う(つづき)
おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

TOOLからワンタッチエディット録音する

準備

☒表示が点灯している場合は、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除してください。

※録音モードの設定を変更するには56～61ページ参照。



メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへの転送

メモ리카ードからUSBオーディオプレーヤーへの録音は、曲ファイルの転送となります。曲ファイルが移動するのでメモ리카ード内からは曲ファイルがなくなります。

1 音源をメモ리카ードに切り換える



2 転送したい曲ファイルまたは、フォルダを選ぶ



※選び方は「お使いになる前に編」24ページ参照。

3 TOOLキーを押し [MEM→USB MOVE] を選び決定する



4 転送を始める



※行わない場合は [CANCEL] を選んでください。



転送に関するその他の詳細や操作については30ページ参照。
選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

CDの曲をUSBオーディオプレーヤー、メモリカードに録音する

1 音源をCDに切り換える



2 CDの状態を確認する

再生中の場合

再生している曲を録音します。

停止中の場合

CD内の全曲を録音します。

プログラムモード停止中の場合

プログラムモードで指定した曲を録音します。

3 TOOLキーを押し [O.T.E. MODE] を選び決定する



4 録音先を選ぶ



O.T.E. START
CD → USB

例) USBオーディオプレーヤーに録音する場合。

O.T.E. START
CD → MEMORY

例) メモリカードに録音する場合。

※ [RETURN] を選ぶと前の表示に戻ります。

5 録音を開始する

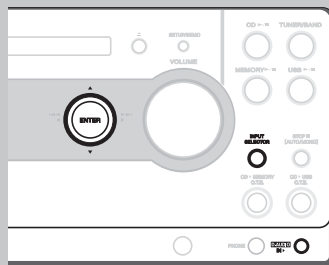


録音に関するその他の詳細や操作については26～29ページ参照。

選択や決定などの操作は本体でも行なうことができます。

外部機器の入力レベルを調整する

同じボリュームでも外部機器の音が他の音源より大きく、または小さく感じた場合は、入力レベルを調整して合わせることができます。



1 調整したい音源 (AUXまたは D.AUDIO) に切り換える



2 TOOLキーを押し [INPUT LEVEL] を選び決定する



※ [EXIT] を選ぶと、もとの表示に戻ります。

3 入力レベルを調整する



-3 ~ +3の範囲で調整します。

※入力レベルの調整は手順1で選んだ音源に対してのみ有効です。

4 確定する



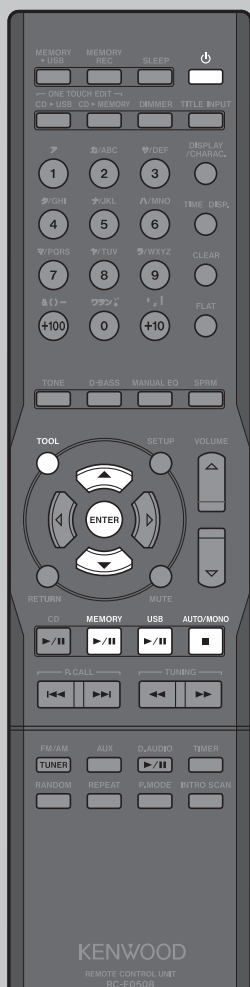
Hint 入力レベルを調整すると、AUX端子、D.AUDIO IN端子に接続された外部機器から録音するときの音量も変わります。カーソルの移動や決定などの操作は本体でも行うことができます。

USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ード内のフォルダ数、曲ファイル数を確認する



USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ード

USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ードのKWDフォルダ内のフォルダと曲ファイルの数を確認することができます。録音やリフレッシュを行う前に併せてお使いください。



1 音源を切り換える



USB



または

MEMORY



2 TOOLキーを押し [USB ヨウリョウ] または [MEMORY ヨウリョウ] を選び決定する



TOOL



◦USB ヨウリョウ
REFRESH



または

◦MEMORY ヨウリョウ
REFRESH

3 現在のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

◻ FOLDER 12/200
▶ FILE 39/1000

※USBオーディオプレーヤー選択時は **USB**、メモ리카ード選択時は **MEMORY** が点滅します。

※本機で扱えるのはフォルダ数200、曲ファイル数1000までです。「お使いになる前に編」24ページ参照。



ルート直下に曲ファイルがある場合は、その数も曲ファイル数に含まれます。

もつと
使いこなす

外部機器の入力レベルを調整する
USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ード内のフォルダ数、曲ファイル数を確認する

■ もとの画面表示に戻すには



TOOL



または

AUTO/MONO



STOP ■
[AUTO/MONO]



リフレッシュ機能でフォルダを整理する

P52

曲をもっと録り貯めるには (メモ리카ードの交換)

P53

リフレッシュ機能でフォルダを整理する

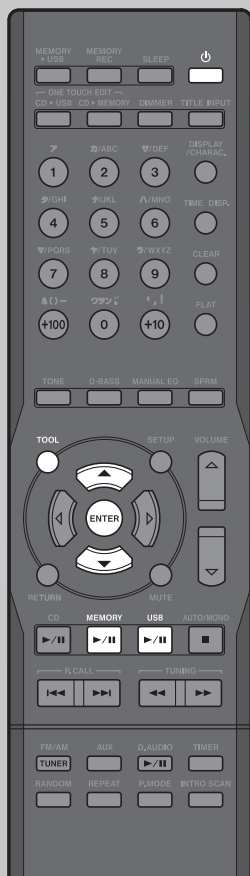


USBオーディオプレーヤーまたはメモ리카ード

リフレッシュを行うとUSBオーディオプレーヤーやメモ리카ードの飛び飛びになっているフォルダ名(AL_XXX)を整理し連番で番号を付け直します。

準備

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードが停止しているか確認してください。



1 音源を切り換える



または



2 TOOLキーを押し[REFRESH]を選び決定する



MEMORY 30/10/07
REFRESH

3 [OK] を選び決定する



REFRESH
OK



※行わない場合は
[CANCEL]を選んでください。

■ リフレッシュが終了すると
フォルダの番号が自動で新たに付け直されます。



選択や決定などの操作は本体でも行うことができます。

曲をもっと録り貯めるには(メモ리카ードの交換)

準備

メモ리카ードの交換はスタンバイ状態時に行ってください。

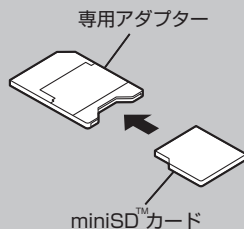
※32MB～2GBまでのSDメモ리카ードが使用できます。SDHC(4GB以上)は使えません。使用可能なメモ리카ードの情報は当社ホームページをご覧ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

※記録前に、本機で初期化することをお勧めします。(67ページ参照)

SDメモ리카ードまたはminiSDTMカードが使えます。

※miniSDTMカードの場合は専用アダプターが必要です。



パソコンと併せてもっと便利にお使いいただけます。

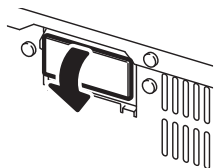
■パソコンで録り貯めた曲ファイルを移動する。

■パソコンを使ってメモ리카ード内の曲を整理する。

詳しくは

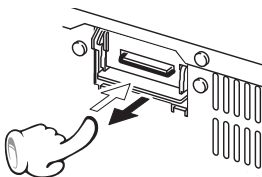
http://www.kenwood.co.jp/faq/uda77_55/

1 メモ리카ードスロットのふたを開ける



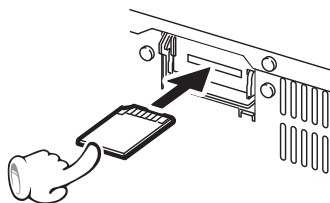
※録音中は絶対にメモ리카ード挿入部のふたを開けないでください。録音が停止し正常に録音が行えません。

2 メモ리카ードを取り出す



メモ리카ードを一度軽く押し込んでください。

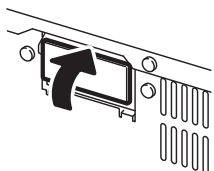
3 交換用のメモ리카ードを入れる



ラベル面を下にして、カットされた部分が左になるように入れます。

※奥までしっかり入れてください。

4 メモ리카ードスロットのふたを閉める



※ふたが開いたままだと再生や録音が行えません。





もっと
使いこなす

リフレッシュ機能でフォルダを整理する曲をもっと録り貯めるには(メモ리카ードの交換)

ディスプレイ表示切り換え

※表示できる時間は9999分59秒までです。それを越え
ると「----:--」と表示され
ます。

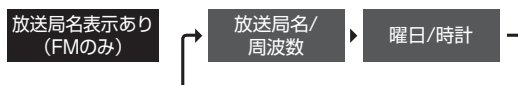
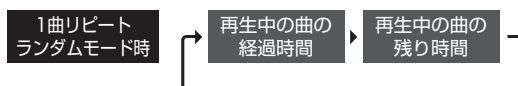
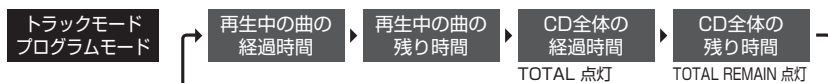


| 音源 | ボタン | 録音中のディスプレイ表示 |
|--|--|--|
|   | DISPLAY /CHARAC. <input type="radio"/> TIME DISP. <input type="radio"/> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 録音もとの音源表示 → USBオーディオプレーヤー / メモリカード 録音表示 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> USBオーディオプレーヤー / メモリカード録音残量時間 REC REMAIN 点灯 </div> <p>※メモリカードからUSBオーディオプレーヤーへの転送中は、時間表示されません。</p> |
|  | DISPLAY /CHARAC. <input type="radio"/> TIME DISP. <input type="radio"/> | |
|  | DISPLAY /CHARAC. <input type="radio"/> | |

再生中のディスプレイ表示



※音源にD.AUDIOが選ばれている場合は、曜日と時計が表示されます。



もつと
使いこなす

ディスプレイ表示切り換え

録音の設定をする



本機には多彩な録音機能がありますが、それぞれの録音について詳細な機能を設定することができます。

より使いやすく、お好みに合わせて、各項目を設定することをお勧めします。

準備

SETUPキーを押し[REC SETUP]を選んでおきます。



SETUP



SYSTEM SETUP
◦ REC SETUP



録音モードを設定する (REC MODE)

USBオーディオプレーヤー、メモリカードに録音する場合、音質や録音できる長さを設定することができます。

1 [REC MODE] を選び決定する



◦ REC MODE
O.T.E. SPEED



※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 録音モードを選ぶ



MEMORY/USB
SQ

または

MEMORY/USB
HQ

SQを選んだ場合

標準的な音質で録音します。HQにくらべて、録音可能時間が長くなります。
ビットレート：128kbps

HQを選んだ場合

高音質で録音します。SQにくらべて、録音可能時間が短くなります。
ビットレート：192kbps

3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

録音スピードを設定する (O.T.E. SPEED)

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードに録音する場合の録音スピードを設定することができます。

1 [O.T.E. SPEED] を選び決定する



REC MODE
O.T.E. SPEED



※ HIGH が点滅します。
※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 録音スピードを選び確定する



O.T.E. SPEED
HIGH

または

O.T.E. SPEED
NORMAL



※ [HIGH] を選ぶと、
4倍速録音になります。



この操作は本体でも行うことができます。
HIGH SPEEDで録音している場合、音は出ません。

録音入力をANALOGに設定してある場合に [HIGH] を選ぶと、録音入力がDIGITALに切り換わります。(下記参照)

転送速度が低いメモ리카ードを使った場合、HIGH SPEED録音ができないことがあります。その場合は [NORMAL] を選んでください。

録音入力を設定する (REC INPUT)

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードに録音する場合、デジタル入力にするかアナログ入力にするかを設定することができます。

1 [REC INPUT] を選び決定する



O.T.E. SPEED
REC INPUT



※ DIGITAL、ANALOG が
点滅します。
※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 録音入力を選び確定する



REC INPUT
DIGITAL

または

REC INPUT
ANALOG



※ 録音入力をDIGITAL
に設定しても、録音
もとの音源がアナロ
グの場合はアナログ
録音になります。



この操作は本体でも行うことができます。

録音入力のANALOG設定は、電源をOFFにすると解除されます。(通常、録音入力はDIGITALです)
録音スピードをHIGHに設定してある場合に [ANALOG] を選ぶと、録音スピードがNORMALに切り換わります。(上記参照)

録音の設定

録音モードを設定する (REC MODE)
録音スピードを設定する (O.T.E. SPEED)
録音入力を設定する (REC INPUT)

録音の設定をする (つづき)

録音レベルを調整する (REC LEVEL)

メモリアードやD.AUDIO 出力端子に接続した機器、USBオーディオプレーヤーに録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は、録音レベルを調整してください。

※SETUPキーを押し[REC SETUP]を選択しておいてください。(56ページ参照)

1 [REC LEVEL] を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 録音する音源を選び決定する



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 録音レベルを調整する



例) [MEMORY/USB] を選んだ場合。



例) [D.AUDIO] を選んだ場合。

MEMORY/USBの場合

-2 ~ +2の範囲で調整できます。

D.AUDIOの場合

HIGHまたはLOWを選びます。

※D.AUDIO 出力端子にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、それぞれの機器に最適な録音レベルを選びます。

M1GB5、M512B5を接続した場合 → 本機：HIGH
M1GB5
M512B5 } 調整なし

M2GC7、M1GC7を接続した場合 → 本機：HIGH
M2GC7
M1GC7 } Mid

4 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

トラックマークの付け方を設定する (TRACK MARK)

メモ리카ードにラジオやD.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、トラックマークを自動または手動で付けるかを設定します。

本機ではトラックマークからトラックマークの間を曲と見なします。

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。(56ページ参照)

1 [TRACK MARK] を選び決定する



2 自動または手動にするかを選び確定する



AUTO (トラックマークを自動で付ける) を選んだ場合

AUTO (自動で付ける) を選んだ場合は、トラックマークを何分ごとに付けるか (AUTO MARK) を設定できます。(60ページ参照)

※CDから録音している場合は、設定に関わらず、曲ごとに自動でトラックマークが付きます。

※ラジオを録音している場合は、AUTO MARKで設定した間隔でトラックマークが付きます。

※D.AUDIO IN端子やAUX入力端子に接続した機器の音を録音している場合は、無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが付きます。

MANUAL (トラックマークを手動で付ける) を選んだ場合



Hint この操作は本体でも行うことができます。

設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

録音の設定をする（つづき）

トラックマークの間隔を設定する（AUTO MARK）

ラジオを録音しているときトラックマークを自動で付ける場合は、何分ごとに付けるか設定できます。

トラックマークを自動で付ける設定にしておいてください。（59ページ参照）

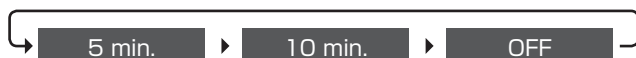
※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。（56ページ参照）

1 [AUTO MARK] を選び決定する



※[RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 間隔を設定する



5分間隔でトラックマークを付けます。

10分間隔でトラックマークを付けます。

無音状態が2秒以上続くとその箇所にトラックマークを付けます。

3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

設定により無音状態が2秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きませんが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

録音時に曲名などをコピーするか設定する (TEXT COPY)

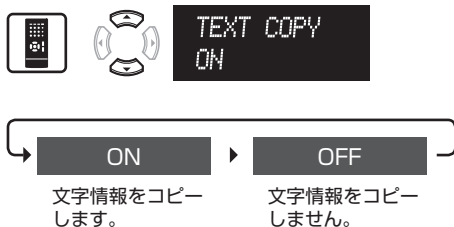
USBオーディオプレーヤー、メモリカードにCD-TEXT対応のディスクを録音する場合に、曲名やアルバム名などの文字情報を一緒にコピーするかを設定します。
(ワンタッチエディット録音のみ 26～29ページ参照)

※SETUPキーを押し [REC SETUP] を選択しておいてください。(56ページ参照)

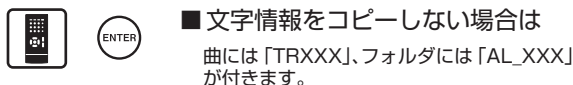
1 [TEXT COPY] を選び決定する



2 [ON] または [OFF] を選ぶ



3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

メモリカードにラジオを録音する場合に、放送局がオートプリセットされていて放送局名が記憶されていると、放送局名がフォルダ名としてコピーされます。放送局名が記憶されていない場合は、周波数がフォルダ名としてコピーされます。(22ページ参照)

文字情報は録音終了後に編集できます。(40ページ参照)

音質の設定をする



音源によっては効果が分かりにくいことがあります。

準備

SETUPキーを押し
[SOUND SETUP] を選んでおきます。



SETUP



REC SETUP
SOUND SETUP



低音を強調する (D-BASS)

1 [D-BASS] を選び決定する



D-BASS
TONE

ENTER

- ※ D-BASS が点灯します。
- ※ [RETURN] を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する



D-BASS ON
4

1 ~ 10の範囲で1ずつ調整できます。

3 確定する



ENTER

- ※ 調整前にD-BASS機能がOFFだった場合は、設定後ONになります。



この操作は本体でも行うことができます。

低音と高音を調整する (TONE)

1 [TONE] を選び決定する



※ TONE が点灯します。
※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 お好みのレベルに調整する



低音または高音
を選んで



調整する



+8 ~ -8 の範囲
で2ずつ調整でき
ます。



+8 ~ -8 の範囲
で2ずつ調整でき
ます。

3 確定する



※ 調整前に TONE 機能が
OFF だった場合は、設定
後 ON になります。

音質の
設定をする

低音を強調する (D-BASS)
低音と高音を調整する (TONE)



この操作は本体でも行うことができます。

音質の設定をする (つづき)

好みの音質を登録する (MANUAL EQ)

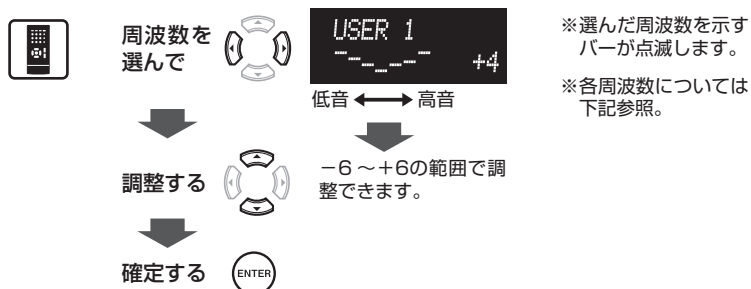
本機搭載の本格的な7バンドのイコライザーで、重低音域から超高音域まで調整して、好みの音質になるような音域のカーブを作ることができ、3種類 (USER 1 ~ 3) まで登録できます。

※SETUPキーを押し[SOUND SETUP]を選択しておいてください。(62ページ参照)

1 [MANUAL EQ] を選び、[USER 1 ~ 3] を選ぶ



2 お好みのレベルに調整し、確定する



| | | |
|---------------|------------------|---|
| 高音 ↑ 低音 | 重低音域の調整 (63Hz) | このレベルを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりとした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられる場合は、適当と思われる所まで下降させます。 |
| | 低音域の調整 (160Hz) | 日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。従って、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。 |
| | 中低音域の調整 (400Hz) | 音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられる所です。もの足りない音だと思われる場合は、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。 |
| | 中音域の調整 (1kHz) | この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥に引込むような感じになり、臨場感に影響を与えます。音の奥行きと深みに関係する帯域です。 |
| | 中高音域の調整 (2.5kHz) | この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられる所です。うまく調整すれば、爽快さや明るさが出てきますが、反面うるさい感じになることもあります。 |
| | 高音域の調整 (6.3kHz) | この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与える所です。上昇させると弦楽器 (バイオリンなど) や、管楽器 (フルート、ピッコロなど) が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。 |
| | 超低音域の調整 (16kHz) | この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器 (トライアングル、シンバルなど) が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。 |



この操作は本体でも行うことができます。

より原音に近い音で楽しむ (SUPREME)

USBオーディオプレーヤー、メモ리카ードのみ。

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。(62ページ参照)

1 [SPRM] を選び決定する



※ **SPRM** が点滅します。

※ [RETURN] を選ぶと、
前の画面に戻ります。

2 [ON] または [OFF] を選び確定する



スピーカーの左右バランスを変更する (BALANCE)

※SETUPキーを押し [SOUND SETUP] を選択しておいてください。(62ページ参照)

1 [BALANCE] を選び決定する



※ [RETURN] を選ぶと、
前の表示に戻ります。

2 バランスを調整し、確定する



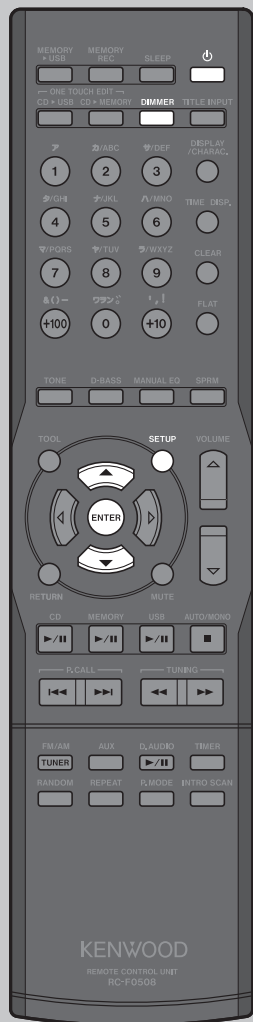
この操作は本体でも行うことができます。

音質の
設定をする

お好みの音質を登録する (MANUAL EQ)
より原音に近い音で楽しむ (SUPREME)
スピーカーの左右バランスを変更する (BALANCE)

ディスプレイの明るさを調整する (DIMMER SET)

DIMMER SETはディスプレイの明るさを3段階で調整できます。好みやお部屋の状態によって調整してください。



1 DIMMER SETキーを押し 明るさを調整する



DIMMER



押すごとに
切り換わります。

DIMMER 1

ディスプレイの明るさが下がります。

DIMMER 2

ディスプレイの明るさが下がったままLEDが消灯します。

DIMMER OFF

ディスプレイ、LEDともにもと通り点灯します。

DIMMER 3

LEDが消灯したままディスプレイの明るさがもとに戻ります。

■ SYSTEM SETUPから設定するには

- 1 SETUPキーを押し [SYSTEM SETUP] を選び、ENTERキーで決定します。
- 2 [DIMMER SET] を選び、ENTERキーで決定します。
- 3 MULTI CONTROLキーの上下で明るさを調整し、ENTERキーで確定します。

DIMMER SET
DIMMER 1



この操作は本体でも行うことができます。

Hint

メモ리카ード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT)

MEMORY FORMATは本機で録音、作成したフォルダや曲ファイルだけでなく、メモ리카ード内のすべてのデータを消去します。

※消去したデータをもとに戻すことはできません。ご注意ください。

ご注意

データの消去中は、絶対にメモ리카ードを抜かないでください。故障の原因となります。

準備

メモ리카ード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT) 場合は、音源をメモ리카ードに切り換えておきます。

SETUPキーを押し [SYSTEM SETUP] を選んでおきます。



SETUP



○SYSTEM SETUP
REC SETUP



1 [MEMORY FORMAT] を選ぶ



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 実行するかを選ぶ



※[CANCEL]を選ぶと、前の表示に戻ります。

3 実行するかを確認する



※消去したデータをもとに戻すことはできないので、本当に消去するかどうか再度確認します。

※[CANCEL]を選ぶと、前の表示に戻ります。

4 確定する



※[MEMORY CARD?] ヌカナイデクダサイ] とスクロール表示されます。

■ 消去が終了すると

MEMORY FORMAT COMPLETE [COMPLETE] と表示されます。

※終了後は手順1の表示に戻ります。



この操作は本体でも行うことができます。

本機でMEMORY FORMATしたメモ리카ードは、他の機器で使えないことがあります。メモ리카ードの種類によっては、MEMORY FORMATに時間がかかる場合があります。

本機の
設定を
する

ディスプレイの明るさを調整する (DIMMER SET)
メモ리카ード内のすべてのデータを消去する (MEMORY FORMAT)

オートパワーセーブ機能を設定する (A.P.S.) 時計を合わせる (TIME ADJUST)

A.P.S.とはAuto Power Save (オートパワーセーブ) の略で、電源がONでCDが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

準備

SETUPキーを押し
[SYSTEM SETUP]を選んでおきます。



SETUP



SYSTEM SETUP
REC SETUP



オートパワーセーブ機能を設定する (A.P.S.)

1 [A.P.S.]を選ぶ



MEMORY FORMAT
A.P.S.



※ A.P.S. が点滅します。

2 [ON] または [OFF] を選ぶ



A.P.S.
ON

※ A.P.S. が点滅します。

3 確定する



※ONの場合は A.P.S.
が点灯します。

時計を合わせる (TIME ADJUST)

1 [TIME ADJUST] を選ぶ



※[RETURN]を選ぶと、前の表示に戻ります。

2 曜日、時、分を合わせる

※選ばれている項目が点滅します。



項目を選んで



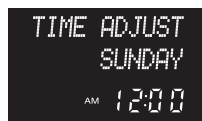
曜日

時

分



合わせます



※昼の12:00は[PM12:00]、夜の12:00は[AM12:00]と表示されます。

3 確定する



この操作は本体でも行うことができます。

電源プラグを差し直したり停電があった場合は、もう一度時計を合わせてください。時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

■電源がOFF (スタンバイ状態) のとき時刻を表示させるには



AUTO/MONO



STOP [AUTO/MONO]



※5秒間表示されます。

関連機能

タイマーを P42-
使う P46

おやすみタイマーを設
定する (SLEEP)

P47

本機の
設定を
みる

オートパワーセーブ機能を設定する(A.P.S.)
時計を合わせる (TIME ADJUST)

メッセージ表示一覧 マイコンをリセットするには

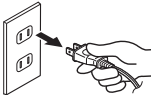


メッセージ表示一覧

| ディスプレイ表示 | 意味 |
|-----------------------------|---|
| CHECK DISC | <ul style="list-style-type: none"> ● TOC * 情報を読むことができない。 ● ディスクが正しく挿入されていない。 |
| Lock サレテマス | <ul style="list-style-type: none"> ● メモリカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている。 |
| MEMORY ヲカクニン ヨウリョウガアリマセン | <ul style="list-style-type: none"> ● 録音開始時、メモリカードに録音可能な空き容量がない ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。 |
| Normal Speed ニ キリカエテクダサイ | <ul style="list-style-type: none"> ● メモリカードの仕様によっては、メモリカードへの書き込みが追いつかない。 |
| PGM FULL | <ul style="list-style-type: none"> ● CDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 プログラムできるのは32曲まで。 |
| RANDOM MODE | <ul style="list-style-type: none"> ● ランダム再生のときに O.T.E.録音をしようとしている。 →ランダム再生を解除する。 |
| READING | <ul style="list-style-type: none"> ● TOC * 情報を読み込んでいる。 |
| TEXT FULL | <ul style="list-style-type: none"> ● 1536バイト以上のテキスト情報があるCD-TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。 |
| TITLE FULL | <ul style="list-style-type: none"> ● USBオーディオプレーヤーまたはメモリカードの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数はフォルダ、曲ファイルにつきそれぞれ28文字まで。 |
| USB ヲカクニン ヨウリョウガアリマセン | <ul style="list-style-type: none"> ● 録音開始時、USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 ● フォルダ数が200、またはファイル数が1000に達している。 |
| カード ガ アリマセン | <ul style="list-style-type: none"> ● メモリカードが入っていない。 ● メモリカードが正しく挿入されていない。 |
| サイセイ デキマセン | <ul style="list-style-type: none"> ● 著作権保護付きのファイルを再生しようとしている。 |
| セツゾク カクニンチュウ | <ul style="list-style-type: none"> ● USBオーディオプレーヤーが正しく接続されていない。 ● USBオーディオプレーヤーとの接続を確立中。 |
| セレクター ヲカクニン MEMORY ヘキリカエ | <ul style="list-style-type: none"> ● 音源がMEMORY以外の場合にMEMORY FORMATをしようとしている。 →音源をMEMORYに切り換える。 |
| テンソウ エラー USB ヲカクニン | <ul style="list-style-type: none"> ● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。 |
| ファイルガ アリマセン | <ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できるファイル（MP3、WMA）がない。 |
| ヘンシュウ エラー | <ul style="list-style-type: none"> ● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性がある。 →パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤー、メモリカードを確認する。 |

| ディスプレイ表示 | 意味 |
|-------------------------|---|
| リフレッシュシテクダサイ | ● フォルダ名がAL_Z90番台になっている。 →リフレッシュを行いフォルダ名を整理する。 |
| ロクオン テイシ ヨウリョウガアリマセン | ● メモリカードに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。消したくない場合は、録音用のメモリカードを入れ換える。 ● USBオーディオプレーヤーに録音可能な空き容量がない。 →不要な曲ファイルを消す。 ● 録音中、作業領域が必要となるため、この表示が出た後でも録音可能な空き容量がある場合がある。 |
| 「？」の点滅 | ● 設定や編集を実行してもよろしいですか？という確認のためのメッセージ。 |

* CDには音声信号以外にTOC (Table of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

マイコンをリセットするには

| 症状 | 処置 |
|------------------------------|---|
| マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する | <p>● 電源がONのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。 次の手順に従い、マイコンをリセットしてください。</p> <ol style="list-style-type: none">  <p>電源プラグをコンセントから抜きます。</p>  <p>再度本体のPOWERキーを押しながら、電源プラグを差し込み直します。</p>  <p>マイコンをリセットすると左記のディスプレイが表示されます。 ※リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。</p> |

困
った
とき

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|---------------------------------|--|--|
| 音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ● 音量を上げる。 ● ミュートを解除する。 ● ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。 | 「お使いになる前に編」 12 「お使いになる前に編」 28 「お使いになる前に編」 28 「お使いになる前に編」 14 |
| スタンバイ・タイマーインジケータの表示が赤く点滅し、音が出ない | ● 使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。 | — |
| スタンバイ・タイマーインジケータの表示が橙色に点滅する | <ul style="list-style-type: none"> ● 現在時刻をもう一度合わせる。 ● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。 | 69 44 |
| ヘッドホンから音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ● 音量を上げる。 | 「お使いになる前に編」 14 「お使いになる前に編」 28 |
| スピーカーの片側から音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● 「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ● RD-AUDA55の場合、接続しているスピーカーの取扱説明書も併せてご覧ください。 ● スピーカーの左右バランスを調整する | 「お使いになる前に編」 12 65 |
| 時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している | ● 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。 | 69 |
| タイマーが作動しない | <ul style="list-style-type: none"> ● 「時刻を合わせる」を参照し、時刻を合わせる。 ● タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。 | 69 44 |

チューナー部

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|-------------------------------|---|----------------------------|
| 放送局が受信できない | <ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを接続する。 ● 放送バンドを合わせる。 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 | 「お使いになる前に編」 12 20 20 |
| 雑音が入る | <ul style="list-style-type: none"> ● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。 | — |
| オートプリセット後、P.CALLキーを押しても受信できない | <ul style="list-style-type: none"> ● もう一度オートプリセットする。 ● 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。 | 22 24 |

メモ리카ード部

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|----------------------------|--|---------------|
| メモ리카ードを入れても音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードを正しく入れる。 ● 曲ファイルが入っているメモ리카ードを入れる。 | 53 |
| 録音か途中で止まる | <ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードに録音可能な空き容量がない。不要な曲を消す。消したくない場合は、録音用のメモ리카ードを入れ替える。 | 36 |
| 録音または編集ができない | <ul style="list-style-type: none"> ● 書き込み禁止スイッチをもとに戻すか、録音可能なメモ리카ードに取り換える。 ● 録音したい音源に切り換える。 | — |
| 録音後、一部のフォルダが見えなくなる | <ul style="list-style-type: none"> ● フォルダ数が200に達しているため、不要なフォルダを消す。 | 「お使いになる前に編」23 |
| フォルダを削除できない | <ul style="list-style-type: none"> ● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。パソコンと合わせてメモ리카ードをご確認ください。 | — |
| メモ리카ード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない | <ul style="list-style-type: none"> ● メモ리카ードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性があります。 | — |



USB部

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|--------------------------|--|---------------|
| USBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない | <ul style="list-style-type: none"> ● USBケーブルを正しく接続する。 ● USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。 | 「お使いになる前に編」14 |
| フォルダを削除できない | <ul style="list-style-type: none"> ● 曲ファイル以外のファイルが入っている可能性があります。パソコンと合わせてUSBオーディオプレーヤーをご確認ください。 | — |

困
った
とき
は
た

故障かな？と思ったら

CD部

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|--|---|-------------------------------------|
| CDを入れても再生できない | <ul style="list-style-type: none">● レーベル面を上にして、正しく入れる。● 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。● 「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。 | 8 「お使いになる前に編」30 「お使いになる前に編」30 |
| 音が出ない | <ul style="list-style-type: none">● CD(▶/II)キーを押す。● 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。 | 8 「お使いになる前に編」30 |
| 音とびがする | <ul style="list-style-type: none">● 「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクを清掃する。 | 「お使いになる前に編」30 |
| CD  キーを押しても [LOCKED] と表示され、ディスクが出てこない | <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグをコンセントから抜き、 キーを押しながら差し込み直す。 | 71 |

D.AUDIO IN端子に接続した機器

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|-------------------------------------|--|---------------------|
| ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない | <ul style="list-style-type: none">● 別売の専用ケーブル PNC-150で接続する。● 非対応モデルを接続している。 | 「お使いになる前に編」14 10 |

リモコン部

| 症状 | 処置 | 参照ページ |
|-------------|--|--------------------------------|
| リモコンで操作できない | <ul style="list-style-type: none">● 新しい電池に入れ換える。● 操作範囲内で操作する。 | 「お使いになる前に編」19 「お使いになる前に編」19 |

用語集

| 用語 | 意味 | ページ |
|-------------------|---|----------------------|
| CD-DA | 音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指す。 | 「お使いになる前に編」 20 |
| CD-TEXT | ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された音楽CDの呼称。 | 8 |
| MP3 | 独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11(128kbps)に圧縮することができる。 | 「お使いになる前に編」 21 |
| SDHC | 4GB以上の容量を持つSDメモ리카ードの上位規格。本機では対応していません。 | 「お使いになる前に編」 20 |
| USBハブ | 複数のUSB機器を同時に接続するためのアダプター。 | 「お使いになる前に編」 21 |
| USBマストレージクラス | パソコンにUSB機器を接続するための規格。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。 | 「お使いになる前に編」 14、21 |
| VBR (可変ビットレート) | 音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。 | 「お使いになる前に編」 33 |
| WMA | Microsoft社が開発した音声圧縮方式で、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/22(64kbps)まで圧縮することが可能。 | 「お使いになる前に編」 21 |
| サンプリング周波数 | アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となる。 | 「お使いになる前に編」 21 |
| ビットレート | 1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となる。 | 「お使いになる前に編」 21 |